

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 1 月 18 日作成)

小委員会名	生活様式変容と住環境計画小委員会	主 査 名：室田昌子 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：野澤康 主 査 名：
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2024 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	本委員会では、今後の生活様式の変容に着目し、その変容の方向性と住環境に及ぼす影響を検討し、今後の住環境計画の在り方を提案する。 ①生活様式の変容の要因で、コロナ禍による生活変化、働き方の変化やテレワーク化、I T 化の浸透、自然環境志向、コミュニティや人間関係の変化などのうち、継続的变化に着目 ②これらによる住空間・近隣・日常生活圏の行動変化とニーズ変化、住宅の立地構造変化などを想定 ③住環境に関連する価値変化、生活様式や行動変化を踏まえ、住環境として望まれる空間や施設、環境、立地を検討し、住環境計画の在り方を提案 初年度：研究会の開催（オンライン開催） ・研究方針の検討・前提条件や分析枠組みの検討、・価値変化・生活様式変化・行動変化に関する知見の共有の実施、・学会大会における O S の実施 2 年度：研究会の開催（対面開催とオンライン開催） ・価値変化・生活様式変化・行動変化の検討、各地域・各空間・各視点におけるニーズ変化・課題の整理、・合同見学会・ヒアリング調査の実施、・学会大会における O S の実施 3 年度：研究会の開催（対面開催とオンライン開催） ・各地域・各空間・各視点におけるニーズ変化・課題の整理と住環境計画の検討、・合同見学会・ヒアリング調査の実施、・学会大会における P D の実施 4 年度：研究会の開催（対面開催とオンライン開催） ・住環境計画の提案・全体取りまとめ、・合同見学会・ヒアリング調査の実施、・学会大会などにおける P D、O S の実施	
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：なし	
	主査：室田昌子 幹事：佐久間康富、桑田仁 委員：青木幸一、大家亮子、川田浩史、木内望、後藤智香子、鈴木健太郎、星卓志、山村崇、吉村輝彦、阿部大輔、中野卓、斉藤圭	
設置 WG (WG 名：目的)	住環境・生活様式変容ワーキンググループ	
2021 年度予算	22 万 円	ホームページ公開の有無：あり 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/toshi/s10/index.html

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	

催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 本年度は、毎回、1,2 名程度の発表者を決めて、各委員が現在進めている研究で、本委員会のテーマと関連のある研究を発表し、それについて委員間でディスカッションをするという方式で進めてきた。委員間の本テーマに関する情報共有ができた。(これまでの研究会で、第 2 回：山村委員、第 3 回：後藤委員、第 4 回：阿部委員、第 5 回桑田委員、斎藤委員の研究発表、今後の予定は、第 6 回中野委員、川田委員) 2. 大会で O S を開催した。 3. 本年度に計画していた委員間の知見の共有と O S の実施は達成している。また、今後のテーマの絞り込みと進め方についてもある程度情報共有ができたと考える。
委員会活動の問題点 ・課題	1. WG を開催していない。 2. すべてオンラインで実施したため、予算を使用していない。